

組合員専用WEBページ

トップページ右上の
組合員はこちらを



神奈川土建一般労働組合機関紙

神奈川土建ホームページ 神奈川土建 検索

発行所
 神奈川土建一般労働組合
 〒221-0045 横浜市神奈川区
 神奈川2-19-3
 建設プラザかながわ
 ☎045(453)9806(代表)
 発行人 西川 智幸
 編集人 古溝 潤
 定価60円
 (神奈川土建の組合費には上記紙代を含む)

「パートナーの会」元気に出発

主婦の会第51回定期大会で新名称決定



「主婦の会」にありがとうをこめて(定期大会にて)

1974年、組合の中
 から生まれた主婦の会は
 組合と共に運動のバトン
 を脈々とつないでいま

運動の前進を目指し仲
 間(会員)を増やしてい
 こうと「主婦の会」に入
 り一緒に活動し「主
 婦」では「私」は「主
 婦」ではありません」と
 という声を聞くことがと
 も増えてきました。現在
 では女性の労働人口の半
 数が仕事をもつていま
 す。社会的に女性の自立
 が進む中で会の活動を広
 げるために、様々な立場

にいてる女性を仲間を迎え
 入れる新たなステップに
 踏み出すことを第49回定
 期大会で確認し、2年間
 の学習と討議を積み重
 ね「新名称を「パートナ
 ーの会」に決定しました。
 「パートナー」という
 言葉の由来は「仲間」な
 どの意味を持ち、組織同
 士においては協力関係を
 築く相手であり「連携」
 とも言え換えられます。
 日常的には配偶者やそれ
 に準ずる相手、共に取り
 組みを進める相手など、
 人間関係において協力し
 あう相手を指します。
 パートナー間で生まれる

50年間積み重ねてきた
 「主婦の会」の活動の継
 承と、これからの活動の
 発展に向けた決意を持
 ち、「組合と共に活動し
 前進するパートナー、組
 合運動の相棒という存
 在。そして組合員のパー
 トナーが中心となる会員
 の組織である」という意
 味を込めました。これか
 らもよろしく願いま
 す。

建設業とても歓迎

一般の方が多く活躍す
 るボランティア活動にお
 いて、「手際がいい」「作
 業がものすごく早い」と
 私たち建設業からの参加
 はとても歓迎されまし
 た。一般の方のボラン
 ティアの場合、1日2回

の軽トラ搬出が限界とい
 うことでしたが、私たち
 は5回も搬出した上、通
 常なら断らざるを得ない
 ような作業も難なくこな
 したため、他の参加者や
 ボランティアセンターの
 方々からは驚きと尊敬の
 声がありました。帰り際
 には、ボランティアセン
 ターの責任者から次回以
 降は直接連絡をして、ま
 た参加して欲しいとい
 う要望もありました。

依頼者の要望を聞きとる青年部員



能登半島に青年部が ボランティアへ



手際よく家具を解体

前日の1日深夜に神
 奈川土建本部から出
 発し、深夜に金沢駅
 着。宿で1泊し、2
 日朝6時半に金沢駅

6月2日(日)に石川
 県鳳珠郡能登町で、「令
 和6年能登半島地震」の
 ボランティア活動に参加
 しました。神奈川土建青

年部から4人、県青協
 ら1人の計5人で参加。
 石川県の制限によって現
 地ボランティアが登録制
 の先着申込みとなってお
 り、行きたくても申
 し込みが殺到しな
 なか行けない状況が
 続く中、3月から申
 し込みを続け、約3
 カ月越しでボラン
 ティア活動に参加す
 ることができました。

の集合地点に集合し、バ
 スで現地に向けて出発し
 ました。3時間弱かけて
 能登町ボランティアセン
 ターが設置されている山
 村開発センターに到着
 し、そこから依頼者(支

援を必要としている
 被災者の自宅に用
 意された軽トラで行
 き、地震の影響で壊
 れてしまった家具家
 電の解体・撤去作業
 や、余震に備えての
 家具家電の移動作
 業、ふすまの調整な
 どの作業をしまし
 た。午後3時には作
 業を終了し、3時30
 分に現地を出発。2

の軽トラ搬出が限界とい
 うことでしたが、私たち
 は5回も搬出した上、通
 常なら断らざるを得ない
 ような作業も難なくこな
 したため、他の参加者や
 ボランティアセンターの
 方々からは驚きと尊敬の
 声がありました。帰り際
 には、ボランティアセン
 ターの責任者から次回以
 降は直接連絡をして、ま
 た参加して欲しいとい
 う要望もありました。



左から菱沼さん、杉原さん、狩野さん、安川さん

建設職人の作業の すぐそばに驚きの 声

本部青年部として6月2日に能
 登へボランティアに行ってきた
 た。朝6時半に金沢駅からバスで
 3拠点に分かれて出発して約3
 時間弱かけて能登という所に行き
 ました。穴水町辺りから特に震災
 の影響が多いと感じました。例
 えば屋根にブルーシートで応急処
 置していたり、建物が斜めになっ
 ていたりまだまだ復興が進んで
 いない状況でした。私たちが行っ
 た能登町ボランティアセンターで
 は、水道や物資等は問題なかった
 のですが聞いた話だと輪島などで
 は水道など衛生面でまだまだ影響
 が残っているようでした。

当日は午前と午後1件ずつ依
 頼のあったお宅に伺って作業を行
 いました。次の大きな地震の備え
 として家具移動、処分などを行っ
 たのですが、高齢の方が多く、や
 はりボランティアの力が必要だと
 感じました。本来であれば震災直
 後に現地に行きたかったのです
 が、受け入れ態勢などで行政が追
 いついておらず、なかなか行くこ
 とができませんでしたが、ボラン
 ティアセンターの方から「今度は
 直接連絡取り合って来てくださ
 い」と言ってくれたので、また行
 ければと思っています。ボラン
 ティアは初めての体験でしたが、
 やはり感謝されたり他の参加者の
 方と話をできたり、とても貴重
 な経験になりました。

復興進まず また行きたい

安川宗 青年部副部長(当時)

大安吉日

コラム執 筆の依頼を 受けて心に 留まってい ることを振 り返ってみ

て、テレビやラジオ、ネッ
 トニュースなどを日々見
 聞きしているはずなのに
 ほとんど記憶に残ってい
 ないことに気づきまし
 た。様々な出来事が起
 こっているはずなのに目
 に入らない。いかに余裕
 がない日々を送っている
 のかと自分でも驚きまし
 た。昔々「かたじけなく
 忙しい」という字は心を「くすくす
 と書く」という一文を目に
 したことがあります。仕
 事や組合の会議などに追
 われるなかで、日常の
 様々な出来事に関心をもち
 つという「人間らしい心」
 が生活からなくなってい
 たのではと反省しました。
 私は支部で常任執行委
 員の役についています。
 支部では様々なとりくみ
 が提案され、毎月の会議
 で進捗状況が確認されま
 す。「〇〇署名は進捗率
 〇〇%と報告されて」「目
 標達成に向けて」と「概
 (き)が飛びます。私も分
 会では同じ言葉で署名や
 拡大のお願いをします。
 言葉では「署名数」や「拡
 大数」という数字になっ
 てしましますが、本来は
 その数字の裏側に様々な
 要求や目標に込められた
 思いがあるはずだと
 思う活動の「忙しさ」
 に慣れて要求に込められ
 た思いに目を向ける心
 をなくさないよう、組合に
 関わっていききたいと思
 います。
 横浜中央支部 鈴木良次

第47回住宅デー全県103会場で開催

「建築のプロ集団」を地域にアピール

地域の信頼を得て工事高7千万円に

川崎西



ていねいに相談にのる組合員

川崎西支部では、住宅相談をメインにした支部独自のオリジナルチラシを各分会1500枚以上を事前に配布。新聞折り込みも行い宣伝に力を入れました。また、昨年作った特製うちわを事前のあいさつ回りの時に活用しました。住宅相談の来場者のほとんどがチラシを見た方で、全8分会、8会場で住宅相談者が詰めかけ、昨年と同程度の15件の住宅相談がありました。

者選び等を集団で討議し、意思統一。相談者に即対応する体制を取って信用を得ています。来場者からは「やはり訪問業者より地元の業者さんが安心です」と喜ばれています。

住宅デーは、我々が建築のプロ集団であること地域にアピールすることで、仕事確保要求のある若い組合員さんを組合活動に組織出来るなどの相乗効果も期待できます。支部では地域住民の住宅要求に対応するため、住宅相談センターを2018年に発足し、早6年が経過しました。この間の



毎回大好評の包丁研ぎ

工事取次件数(相談)363件、工事件数は200件を越えて、完成工事高約7000万円に上っています。

【川崎西・大崎宏・記】

21年振りの快挙

100万人請願署名が全会一致で採択

全建総連の仲間とともに「持続可能な建設業の実現に向けた100万人国会請願署名」に取り組み、119万6248筆を集約し、国会議員要請を積み重ね、368人の議員の賛同を得て国会に提出しました。

改正法では、労働者の処遇改善確保を努力義務化し、中央建設業審議会が基準となる標準労務費を作成・勧告し、著しく低い労務費や短い工期による見積りや契約の禁止を受発注者双方に課すことで、適切な労務費の確保を担保するとしています。担い手3法改正は、

現場改善 NEWS

現場改善

公式LINEを使った現場改善運動



総合医療センター現場前で宣伝

エレベーター・トイレの改善要望を受け、大成建設に申し入れを行う

2024年3月に横須賀三浦支部と横須賀地区協議会(建設労連)の仲間を中心に現場宣伝を行った総合医療センターの現場の従事者から、「エレベーターの使用範囲を広げてほしい」「仮設トイレを中間階にも設置してほしい」との声が神奈川県建設公式LINEに届きました。これを受け組合は、大成建設に改善を要望しました。

から「5月14日から本設エレベーターを使用可とし、作業員昇降のための使用時間を設ける」「トイレについては排水経路の都合で中間階に設置できないため、エレベーターを使用して1階のトイレを利用いただき」と回答が届きました。一部の改善となりましたが、神奈川県建設は首都圏の組合と協力し、大手ゼネコン現場の環境改善に取り組みんでいます。



何か現場の問題があるときには、神奈川県建設公式LINEへ状況と要望をメッセージで送ってください。引き続き、現場環境改善に取り組みしていきます。

請願は、衆議院は国交委員会、参議院は厚労委員会に付託され、6月21日に参議院厚労委員会と本会議で「建設労働者の雇用改善、担い手確保・育成に関する請願」が全会一致で採択されました。衆議院では保留になったものの、全建総連の意見を反映した改正建設業法等の付帯決議も全会一致で採択されました。過去20年間で50万筆を超える請願署名を国交

委員会に提出したのは全建総連が唯一。請願採択は21年振りの快挙で、極めて大きな成果を勝ち取りました。



大喜びの来場者が挨拶状とお礼に来所

【横浜鶴見】

住宅デーを3会場で開催しました。能登半島地震を受けての耐震相談と町場工務店の仕事確保を目指し、住宅デーの案内をタウンニュースに掲載し、広く市民に宣伝しました。会場では、包丁研ぎや住宅相談、フランクフルトの販売や子ども向けにヨーヨー釣りなどを企画しました。支部事務所の会場には「タウンニュースを見た」と、バスを乗り継ぎ来場した人が包丁を研いでもらって大喜び。後日、挨拶状と寸志を持ち、お礼に見えました。



来場者と明るく交流

3会場で、包丁研ぎが36本、住宅相談が1件ありました。みなさんから寄せられた募金14,900円を、全額社会福祉協議会に全額寄付しました。

親子連れで会場にぎわう

【横浜西】

4会場で開催された住宅デーは、全会場合わせて来場者91人、住宅相談4件、包丁研ぎ95件、まな板削り6件を受け付けました。悪質リフォーム詐欺が増加し、大規模災害への備えが必要となる中、地域で頼れる建設職人がいることをアピールし、仕事確保をめざしました。各会場では来場者を確保するために子ども向けにヨーヨーや射的などを用意し、通りすがりの親子連れで会場がにぎわいました。包丁研ぎは昨年も来場された方のリピートが半数を占めました。ただし、宣伝不足など来場者が来ない時間があったことや、住宅相談につながらなかったことなど、課題が残りました。



毎年楽しみに来てくれます

横浜西・金野三天

建設を明日へつなげる者たち
Next Generations
64

必死に働きやりがいや楽しさに気づいた



いると「うちに来なよ」と声をかけてもらいました。転職する事を決め、その半年後から重量鳶として働き始めました。最初は体中筋肉痛になり、頭の前からつま先まで汗だくになりながら、必死に働きました。しばらくして、ふとこの仕事のやりがいがや、楽しさに気づきました。

2年くらいした時に、当時自分に声をかけてくれた職長に独立を提案され、2人で会社を設立する事に決めました。最初は色々な会社に営業させて頂き、チラシホルと使って頂きながら力量を見て頂き、今になっては長期で使って頂ける所まで来りました。振り返ると周り

に恵まれているなと再認識することばかりで、感謝しかありません。今後安全第一で日々精進しながら励んでいきたいと思えます。

手厚い保障等の保険がしっかりとっていて「安心できるな」と思ったのが決め手です。

熱中症対策

重量鳶は新築をはじめ改修、解体から機械設置などあらゆる状況で作業します。解体時は保護メガネ、マスク、状況に応じてヤッケなど身にまとい作業をするので、冬場でも汗だくになります。夏場は現場自体が熱中症対策に取り組みますが、冬場はおろそかなるので、周囲の顔色を見ながら、水分は小まめに取るようにしています。

神奈川土建を選んだ理由

保険を探していた際に、労働基準監督署に案内されたのが神奈川土建でした。案内された当日に飛び込みで申し込みに行ったところ、快く受け入れてくれただけでなく、

原水爆禁止2024年

世界大会へ代表派遣

核保有9か国の保有核弾頭が推定1万2121発との報告書をストックホルム国際平和研究所が発表しました。保有数の9割をロシア(5580発)と米国(5044発)が占め、その内2100発が数分以内に発射可能な「高度警戒態勢」に置かれています。神奈川土建は核兵器廃絶を目指す平和運動に連帯し、原水爆禁止世界大会に本部・各支部から代表派遣して

私の決意

広島は人類に対して核兵器が使われた最初の地です。今回、50人の仲間とその実相を学んできました。原爆ドームの足元には当時爆風で吹き飛ばされたがれきりがそのまま残されています。神奈川土建の団長として、現地に立つてこそ感じるものを心に刻むつもりです。元気に参加して今後の組合活動に生かせるよう、代表団の仲間と学び語り合っています。



平和運動委員長 武藤 秀人

よこちゃん & むっくんが行く やっぱり群会議

副委員長 常任中執 横浜鶴見支部 東寺尾分会・合同群会議



組合に理解のある近所のおばあちゃんが自宅の1階を会場として貸して

て学んでいました。高校3年になり就職する時には進路を決めていたのに、求人票を閲覧していた際に当時の進路担当に勧められた施工管理の会

社に入社しました。そこで現場について一から学び、建設業の楽しいことや辛いこともコツコツ学んできました。施工管理をして6年過ぎた

あたりで、「施工管理は正直続けることが難しいな」と悩んでいた際に、当時下請けで携わっていた重量鳶の職長に歳が近いこともあり、相談して

ません。署名を書きながらもおしゃべりが続き、みんなの仲の良さが伝わってきました。目前に迫った、支部大会のことも話題になっていました。

参加している組合員に、「健康チェックをやってみませんか?」とお話してみました。「自分の健康のためでもあるなら、やってみようかな」と関心を持ってくれた様子でした。

くれています。開会の少し前から組合員が集まりはじめ、会場に入っているとベテランの群長さんが「おつかれ〜」と元氣よく声をかけます。みんながにぎやかにおしゃべりしながら納入が始まりました。ここでト

ラブル発生…。用意していたお釣りがなくなってしまう。すると組合員さんは、「いいよ、いいよ、いいよ。コンビニに行つて、なんか買って、小銭をつくらせてくれるから、少し待っててください」と

役員の苦勞を気づかうところがとてもいい雰囲気でした。納入終わると一人、ベテランの役員さんが「署名もあるよ。よろしく」とフレンドリーに声をかけると、イヤな顔をする組合員はい

住宅相談も換気扇の交換や窓枠調整などが寄せられました。地域の方の交流だけでなく仕事確保になるよう、契約につながることを願います。

当日は天気にも恵まれ、多くの参加者でにぎわいました。住宅デーに初めて来場し「包丁研ぎをお願いした」という方は、開催場所のご近所で、「何かやっているな?」とのぞいたら、子ども向けのヨーヨー釣りや黒板づくりでにぎわっているのを見て、お子さん連れで参加されました。「切れ味がかなり良くなると常連の方から聞いたので、料理するのが楽しみ」と話していました。



「住宅デー」の回数増やして「の」声も

【横須賀三浦支部】

当日は天候にも恵まれ、203人の来場者が訪れました。包丁307丁とまな板38枚を研ぎ削りするなど、活発な活動が行われました。分会独自の企画では、網戸の張り替えや剪定ばさみ研ぎ、まな板販売も実施しました。住宅相談は16件寄せられ、仕事につながるよう見込みも行うなど分会で対応中です。



みんなで協力して包丁研ぎ

また、12,320枚のチラシを地域に配布、ポスターの貼りだし、新聞折り込みや町内会の回覧板、タウンニュースで宣伝を行いました。来場者からは住宅デーの回数を増やしてほしいという感想も寄せられ、集まった募金は70,217円になりました。住宅対策部長 霜越明

にぎわいを見て来場

【茅ヶ崎寒川支部】

当日は天気にも恵まれ、多くの参加者でにぎわいました。住宅デーに初めて来場し「包丁研ぎをお願いした」という方は、開催場所のご近所で、「何かやっているな?」とのぞいたら、子ども向けのヨーヨー釣りや黒板づくりでにぎわっているのを見て、お子さん連れで参加されました。「切れ味がかなり良くなると常連の方から聞いたので、料理するのが楽しみ」と話していました。



子ども向け企画も好評

住宅相談も換気扇の交換や窓枠調整などが寄せられました。地域の方の交流だけでなく仕事確保になるよう、契約につながることを願います。

シニア世代の要求結集と前進を

シニアの会第16回定期大会を開催



6月17日、建設プラザ2階ホールで、シニアの会第16回大会を開催しました。代議員58人、執行部、来賓、顧問含め69人が出席し2023年度総括、新年度方針、決算、予算が承認されました。各支部の活動報告では、10支部で学習や観光を楽しむ旅行や、特色のあるイベントが開かれて、コロナ禍の影響から抜け出した1年を実感する大会でした。2022年度から始めたバス旅行補助は参加者248人でしたが、申請対象を全て

のシニア企画行事へ引き上げた結果498人に倍加する申請がありました。この制度でシニア世代の「仲間の見守り活動」を会の主題として楽しく実現する様々なイベントに補助を行い、次年度は各支部の活動をさらに増やそうと確認しました。神奈川土建の65歳以上の組合員が減少している中でもシニアの会は会員数を増加させました。65歳を超えている組合員の30%をシニアの会の会員として組織するという長年の目標に達することが

今月のテーマ 暑さと疲れが重なる時期は食中毒にご用心

暑く、湿気が多くなり疲れが蓄積しやすいこの時期は免疫力が落ちやすくなります。そこに追い打ちをかけるように、食品類の細菌の増殖が重なるのが今の時期です。食事は健康管理の要です。まず

お弁当づくりのポイント
お弁当では水分が多いと細菌発生の原因になります。水分の出にくいお



市川可奈子保健師の

健康の

ススメ

後遺症が起こる可能性も

かずを選び、ご飯は冷ましてからふたをしましょう。たんばく質である卵や魚、肉類はしっかりと加熱しましょう。意外と気がつけたいのがおにぎりです。握る際は直接触らず手袋やラップを使用しましょう。具材としては塩分が多く水分が少ない梅干しや塩こんぶなどが食中毒・熱中症予防ともに効果的です。具材に水分が残しやすい炊き込みご飯はおすすめてできません。

食中毒は回復しても、ギランバレー症候群という後遺症を起こす可能性があります。ギランバレー症候群とは全身の神経に炎症が起きる難病です。手足の脱力感やしびれから始まり呼吸困難などの症状が出る場合があります。発症の主なきつかけは食中毒などの細菌やウイルスの感染です。回復には時間がかかります。回復には時間がかかり生活や仕事にも影響しますので、まずは感染しないための予防が大切です。

新年度役員

- 会長 小松健二(横浜戸塚)
- 副会長 松尾廣海(相模原) 山口与司雄(西相) 福田信男(横浜戸塚)
- 事務局長 若林昇(横須賀三浦)
- 事務局次長 小池伸一(常任書記)
- 執行委員 支部シニアの会会長

でき、原動力となる拡大月間では秋・春ともに15支部が目標を達成し、達成賞(新設)をお渡ししました。

新年度に向け各支部でシニアの会総会が開催されます。組合方針に團結するシニア世代の結集は、仲間同士のケア活動

を主題としながら、シニア世代の要求を結集させる労働組合的な組織発展が求められ、さらに前進させることを確認しあう大会となりました。皆さんと一緒に頑張っていきたいです。

シニアの会会長 小松 健二

書記局員募集

- 募集対象** 建設労働者の賃金・労働条件の改善運動等に熱意のある方 デスクワークや事務処理に長けた方、または経験者
- 給与** 基本賃金(年齢給・勤続給*1年経過後より)、年2回定期昇給
例) 25歳で入局の場合 年齢給205,920円+書記局手当65,900円 賞与年2回 *査定あり
その他、書記局手当(みなし残業手当)・時間外手当・通勤手当・扶養手当
- 応募方法** 履歴書と職務経歴書を「本部採用担当者宛」に郵送
詳細は毎月配布された募集チラシをご覧ください。

技術センターだより

資格講習会のご案内

神奈川土建の講習

- 熱中症予防労働衛生教育 指導員・管理者 (受講料: 6,000円、休憩を除く4.5時間講習) 7月21日(日) 会場: 厚木支部
- 有機溶剤作業主任者技能講習 (受講料: 14,000円、休憩を除く13時間講習) 8月22日(木)~23日(金) 会場: 建設プラザかながわ
- 職長・安全衛生責任者教育 リスクアセスメント含 (受講料16,000円、休憩を除く14時間講習) 9月14日(土)~15日(日) 会場: 横浜戸塚支部
- 低圧電気取扱業務 特別教育 (受講料: 8,000円、休憩を除く8時間講習) 9月22日(日) 会場: 建設プラザかながわ
- ロープ高所作業 特別教育 (受講料: 8,000円、休憩を除く7時間講習) 9月29日(日) 会場: 建設プラザかながわ

神奈川建設労連の講習

- ※支部を通じて神奈川県連に申込みして下さい。
- 高所作業車運転技能講習 (受講料: 14H講習48,000円、小型移動式クレーン技能講習修了者12H講習46,000円) 8月23日(金)~24日(土) 会場 学科: 建設プラザかながわ 実技: 教習機関
- 石綿作業主任者技能講習 (受講料: 10,000円、休憩を除く12時間講習) 9月10日(火)~11日(水) 会場: 建設プラザかながわ
- 型枠支保工の組立て等作業主任者技能講習 (受講料: 10,000円、休憩を除く14時間講習) 10月8日(火)~9日(水) 会場: 建設プラザかながわ
- 高所作業車運転技能講習 (受講料: 14H講習48,000円、小型移動式クレーン技能講習修了者12H講習46,000円) 10月16日(水)~17日(木) 会場 学科: 建設プラザかながわ 実技: 教習機関

その他の提携講習機関

nextPCT(旧: IHI技術教習所) コマツ教習所 PEO建機教習センター(旧: 日立建機教習センター) 日建学院 総合資格学院 技術技能講習センター等、詳細は各支部窓口にお問い合わせください。

青年部マル得援助金のお知らせ
青年部加入者の「マル得援助」の対象に「マル得資格取得祝金」に対応する国家資格等の受験料も加わりました。受験料の払込証または領収書を添付して申請を行ってください。

申し込み、問合せは所属する支部事務所へ

☆写真1枚(縦3cm×横2.4cm)を用意。無帽、無背景、上三分身、頭髪を含め顔、体を写真内に収める。(顔、髪、顎の見切れは受付不可)
☆公的機関の発行した身分証明書で氏名・住所・生年月日の確認をします。
☆日程変更や中止になる場合もあることをご留意ください。
☆無断欠席、当日のキャンセルによる受講料の返還には応じかねます。
※募集の締切りは開催日2週前の平日です。申請書・写真・添付資料、受講料を準備して支部で申し込みをし、支部・単組は速やかに当センター提出してください。
※作業主任者講習、職長・安責教育、準備講座、JW-CADの申し込みには、労働者の場合は雇用保険被保険者資格取得等確認通知書、一人親方は労災保険加入証のコピー添付と、番号の申請書記入。また、最終学歴の記入をお願いします。